



## 「私の留学」 1・1 (2016年-2017年 コスタリカ)

昨年2月、あまり留学するという実感がわからないまま日本を出発し、私のコスタリカでの生活が始まりました。AFSの現地オリエンテーションを経てホストファミリーと対面しました。初めはとても緊張していましたが、ホストファミリーは大きなケーキを用意して私を歓迎してくれ、とても嬉しかったです。コスタリカは熱帯気候に属していますが、私が配属された地域は標高1,500メートルほどの所に位置しており、快適に過ごすことができました。また、学校は辺りいち面緑で囲まれており、教室を出れば広大な自然が広がっている場所でした。

ドキドキしながら学校に行くと、たくさんの生徒が集まってきてくれて、コスタリカ人の親しみやすさを実感しました。学校は13歳から18歳くらいまでが在籍する、いわゆる中高一貫校のようなところですが、日本のように学年ごとの壁はなく、学年を越えた友達もたくさんできました。友達には恵まれましたが、公用語であるスペイン語には苦しみました。みんなが共通の話題では話

しているのに、自分だけその内容が理解できない。一生懸命質問してくれているのにうまく答えられない。そのグループに「存在しているだけ」の自分がとても悔しかったです。みんなの話に交じって一緒に笑えるようになりたいという思いでスペイン語を勉強しました。

ちょうど留学生活が半分を過ぎたところに dia de intercultural(国際文化の日)という行事があり、そこで日本の紹介をしてくれないかと頼まれました。スライドと原稿を作って挑んだ発表は無事に成功しました。友達にも「良かったよ！」と声をかけてもらい、自分の小さな成長が感じられた瞬間でした。また、コスタリカの伝統ダンスも体験し、新しいことに挑戦する姿勢が身についたと思います。

この留学では本当に良い出会いがたくさんありました。ホストファミリーや学校の友達だけでなく、他の国の留学生たちに支えられて最高の一年を過ごすことができました。今後は、このような素晴らしい体験を多くの人に伝え、留学を考えている人たちの役に少しでも立てるように高校留学に関わる活動に携わっていきたいです。

